

総 評

A委員	従来より結果重視、研究成果を活かすようになっていと感じました。また、研究テーマがやや受け身のように思いました。例えばバイオマスのテーマなどは県で決めたからやる、というような印象をもちました。これからはセンターから課題を提案するような形になれば良いのではないかと思います。
B委員	研究テーマのお客さんは誰なのか、そしてニーズは何なのか、ということがだいぶ明確になってきたと思います。もう一つですが、我々企業での研究発表の場では目標値があり、結果報告では目標値に対してどうであったかを評価するのですが、今回のプレゼンではその部分があまりなかったように思いました。目標値を設定することは、お客様のニーズや問題点を良く理解していないと出来ないことです。
C委員	公設試でやっている研究は企業とはあまり関係がないように思っておりましたが、今回発表を聞いてみて具体的に企業にも転換できるような研究をしていると感じました。今後は企業側から積極的に参加してセンターと共同研究を行えるようにしていければと思います。
E委員	前は内容が見えにくいテーマが多かったのですが、企業に技術移転できるようなテーマが多くなってきたのは良いことだと思います。また、このセンターでしかできないような研究を少しでも持っても良いのではと思いました。
F委員	各研究テーマが具体的にどのように実用化されていくのかを考えると、市場調査やマーケティングに対する検討が弱いと感じました。これらの検討を重ねることによって研究が生きてくるとい側面もあると思いますので、バックアップ体制の構築が必要なのではと思いました。今回は基礎研究が少ないうように感じましたが、将来を見据えると重要な施策であると考えますので、その体制も充実してもらいたいと考えます。また、配布資料だけでは研究の具体像が見えにくく、研究員の方々の苦労した部分がわかりにくいので、事前の資料を充実して頂ければと思います。
G委員	研究テーマについて、内容は難しかったのですが、その研究技術の意味に関して興味を持つことができたのでは良かったと思います。